

1 はじめに

本研究では・・・を行い、・・・を明らかにする。

2 理論**3 予稿集の書き方****3.1 原稿のサイズ**

原稿は A4 サイズで作成し、この見本を参考にすること。フォントを埋め込んだ PDF ファイルを myFIT にて提出する。

3.2 文章量

1 編あたりの本文（表題、教員名、氏名は含まない）は、全角 22 字×42 行×2 段を原則とするが、表題、氏名欄が増えた場合、行数減少は可とする。

3.3 文字のと色と大きさ

黒色、明朝体 10.5 ポイントを原則とする。英数字は見出しを除き半角英数字とし、Times 系の Times New Roman フォント 10.5 ポイントの使用を原則とする。句点は「.」、読点は「,」を用いる。

3.4 配置

表題：原稿用紙の第 1 行に割り当てられた発表番号を 14 ポイントで書く。続けて中央に表題を（長ければ 2 行）に 14 ポイントで書く。学籍番号と氏名：表題からポイント数を 10.5 に下げて 1 行空け、学籍番号順に並べて中央に書く。指導教員名：その次の行に“指導教員 ○○○○”と右寄せで書く。本文：1 行空けて 2 段組とし、本文を 10.5 ポイントで書く。

3.5 図表

図表は、原則として PDF 形式もしくは拡張メタファイルや SVG などのベクター形式で貼り付ける。

3.6 原稿の余白

天地左右のマージンは 25mm とする。

4 本文内容

はじめに、本文、おわりに等の見出しはゴシック体 10.5pt で数字は半角英数の太字（**Bold 体**）とする。

見出しの次は行を空けずに本文を書く。

各段落の文頭 1 字下げる。

数式には数式番号を行末に付ける。

数式には数式番号を行末に付ける。

数式には数式番号を行末に付ける。

5 文字数の確認

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30行目

6 おわりに

本研究では、・・・し、・・・であることを明らかにした。

参考文献

- [1] ナンシー・エトコフ, なぜ美人ばかりが得をするのか, 285p., 草思社 (2000 年)
40行目
41行目
42行目
42行目
- [2] 小林稔, 村松健児, “生産の計画立案技術の品質”, 生産管理, Vol. 20, No. 2, pp. 29-37 (2014 年)